

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスすてーじ 高陽店		
○保護者評価実施期間	令和 7年 11 月 1日		～ 令和7年 12 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	令和 8年 1 月 7日		～ 令和 8年 1 月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師が常駐している為、医療的ケアが必要なお子様も利用の受け入れができる。また、医療的ケア児の方以外にも、安心してご利用していただけること。	医師や保護者からの指示の基、痰吸引や注入、発作対応など看護師による医療的ケアを行っている。 医療的ケア児以外の利用者の体調にも気を配り、気になる様子が見られたら、保護者への連絡を行い、早めの対応を心掛けている。	引き続き、医療ケア児の対応内容を正確に情報共有をしていく。予防接種の有無や既往歴などの情報を、年度替わりだけでなく、随時更新してもらえるように働きかける。
2	専門職(ST・PT)による、専門的な視点からの支援が行えること。保護者への情報共有や専門職からの指導の基、他の職員への助言があり、支援の統一が図られる。	特性やニーズに寄り添い、言語聴覚士や理学療法士が個別指導を行っており、ひとりひとりの成長に合わせた取り組みを行っている。支援の方向性を統一するため、保護者や他の職員への情報共有を行っている。	固定観念にとらわれないよう、ひとりひとりの成長とより良い支援へと繋げていけるように、小さな変化を見落とさず、共有していく。
3	広い療育スペースを活用し、遊具の設置も可能であり、身体を十分に動かしながら過ごすことができること。またバリアフリーの環境で安心して歩行できる。また、車椅子での移動が容易である。	取り外しができる遊具を使用していることで、活動に合わせたスペースの確保ができるようにしている。安全に歩行や移動が出来る様、環境整備を行っている。	集団活動や運動の内容が単調にならないよう、活動プログラムの種類を増やし、活動の幅を広げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士のつながりがなく、情報交換の場が限られていること。	保護者会の開催がないことやご家族が参加できるイベントが年に2回しかないこと。	現行の年2回のイベントの際は、スケジュールを早めに知らせ参加しやすいようにする。平日の午前中の時間を活用し、全体またはグループ毎に保護者会を計画し、異学年や他校の保護者同士の交流の場を設ける。日程の調整や駐車場の確保が必要となる。
2	SNSの活用頻度がとても低く、日常の様子を知らせるツールが月1回の通信のみとなっていること。	職員の技能的な面で、限られた職員でしか取り組めていない。	個人情報の管理を徹底しながら、誰でも安心安全に業務に取り組めるよう指導していく必要がある。
3	地域との交流がないこと。	外出活動を実施していないため、交流する機会がない。	災害が起こった際の救助や避難場所の確保のためにも、日頃から地域の理解を得る必要がある。地域の催しに職員が出席し、パンフレットなどを配布しながら、当施設の理解を高め、見える化を図る必要がある。